

## CEN/CENELECの活動から見た 日本の標準化教育への提言

SC61B & SC61C国際議長  
佐々木宏  
2011. 09. 09

## 目次

- 1 CENELEC総会の参加報告  
世界中がCENELEC方式で標準化が行われる
- 2 国際議長としての経験  
電子レンジの国際標準力
- 3 今後へ向けて

日程：6月8日 7回CEN-CENELEC合同総会  
場所：ワロ（ポーランド）  
ヤギロニアン大学



CEN/CENELEC合同総会プログラム

- 1) 開会宣言 会場
- 2) 歓迎の挨拶
- 3) 基調講演 ポーランド経済省代表
- 4) 贈呈式
- 5) セッション1 欧州標準化：2010年6月以来達成したマイルストーン 会場内

5.1) コアビジネスハイライト

- ① CENELEC総会決定事項
- ② CEN/CENELEC共同作業レポート
- ③ CEN/CENELEC管理センター活動レポート

5.2) その他講演  
欧州委員会講演、ISO講演、IEC講演、ETSI講演、EFTA講演、COPANT挨拶

6) セッション2 先頭に Stay sharp  
終了挨拶 CEN会長



② CEN/CENELEC共同作業レポート、会長委員会・会長グループ/渉外共同委員会活動レポート-セトCENELEC会長兼会長委員会議長2011  
-CEN/CENELECチャレンジ合同対応  
会長委員会PC-共同政策機関



CENELEC会長  
Mr. David DOSETT

-政策事項  
-共同ポジションペーパー  
->>デジタル議題  
->>開発組合  
->>単一市場法  
->>標準化パッケージにおける公開相談

-戦略事項  
->>IT戦略WG  
->>ソフトウェアライブラリに関するWG  
->>CCMC法的統一体におけるアドホックグループ  
->>CEN/CENELECパートナーシップ

-技術事項  
-欧州電気自動車(M/468)に関するフォーカスグループ  
-標準化の市場性プロジェクトBTWG1  
-エネルギーマネージメントにおけるセクターフォーラム  
-原産と認証の保証JWG2

-法的事項  
-CEN/CENELEC/ETSI/ISO/IEC法的プラットフォーム  
(コピーライト、知的財産、商標保護のコーディネーション)



次期CENELEC会長  
Mr. Tore TRONDVOLD

-CEN/CENELEC2020年ビジョン 欧州内

<政治>  
-欧州標準化システムは欧州の重要資産であり、公共・私有パートナーに広く認知されている。

<経済>  
-資源の賢いマネジメントによる欧州標準化、集中したアプローチ(システム、商品、サービス)による助長した開発、欧州単一市場の成功への貢献

<社会性>  
-増加する社会関心事項、例えばアクセシビリティ、高齢化人口、教育、食品性能、社会的責任、は欧州標準化に当てはまる。

<技術>  
-開発計画内で多くの欧州市場の技術的強化は標準化に支えられている

<気候/環境>  
-標準化がリードする持続可能な商品/プロセス、ラベル規制、エネルギー効率の環境、行動変化、関連の法的要求事項

-CEN/CENELEC2020年ビジョン 欧州グローバル化

<政治>  
-欧州標準化モデルは発展途上国/地域に魅力的である

<経済>  
-BRICS各国は欧州をモデルとみている

-ISO/IECは唯一世界的に認められた規格開発団体

<技術>  
-欧州は標準化作業の新規分野の国際的リーダーとなる

-気候変動/環境  
-スペインの「グリーンエネルギー」技術における欧州リーダーシップへの貢献と国際交渉への支援

-CEN/CENELEC2020年ビジョン 如何にするか  
構造とプロセスの変更を実施  
焦点を次に当てる

1. 中小企業、社会でステークホルダーの活発な参加促進
2. インターオペラビリティと市場関連を支持する欧州標準化機構ESO間の更なる調和と実現
3. 標準化の利便性のためによりよく意思疎通促進
4. ホリゾンと予見されるプログラムの開発における早期介入を確実にする
5. プロセス改善に技術をよりよく使い、正確は信頼性のある規格を発行する
6. 研究プログラムのキートンとなり、研究開発/市場開発/市場配償へのリンクをつくる
7. フォーラム/コンソーシアム規格を欧州規格に採用するためのプロセスを広げる
8. 関連する効果的規格と実現するセクターにおける市場契約の改善
9. 欧州レベルでのCEN/CENELEC、各国レベルでの各国規格機構/標準化委員会の性能要求を体系的に査定に最新化する

-CEN/CENELEC/ETSI 共同活動-ジョイント会長グループ

-欧州標準化システムESSの効率と一般性の改善  
>>CEN/CENELEC/ETSIルールとプロセスWG  
>>グリーンデータセンターのエネルギー効率に関するCEN/CENELEC/ETSI CG  
>>スマートグリッド(M/490)の規格に関するCEN/CENELEC/ETSI JWJG

-期待 CEN/CENELEC/ETSIジョイントWG  
>>標準化教育(EaS):  
-欧州内標準化教育のベストプラクティス  
-標準化教育改善のためのESOとメンバーの方針(トラクト)作成  
-高度カリキュラムなどのモデル構築 →アカデミーを取り込む挑戦

追加資料

・渉外委員会 欧州標準化でひとつの声  
 渉外担当: イノベティヴ  
 EC/EFTAからの共同と多大な支持  
 - 欧州標準化システムとモデルの推進  
 > 中国への欧州標準化専門員 第2段階 (SESEC phase II)  
 > インドへの欧州標準化専門員 (SESEI)  
 - 特定セクターに対する規格(基準)の組織的情報交換を確保  
 > 中国とEU/EFTAの規格情報プラットフォーム(CESIP)  
 - 共同契約  
 > 中国規格当局SAC  
 > 汎アジア規格機構COPANT  
 - 交渉中の共同契約(CEN/CLCとの契約、ETSIへの拡大)  
 > ユーロアジア標準化・計量・規格機構EASC  
 > メルコソール標準協会 AMN  
 > 中近東海岸諸国(GCC)標準化機構 GSO  
 > ロシアの技術基準・計量連邦局 Rosstandart  
 - 情報交換会  
 > ANSI  
 - EU基準・TEC会議支援: 中国、ロシア、アジア

6) セッション2先頭に Stay sharp  
 欧州標準化、研究開発: 統合アプローチ  
 モデレータ: Mr. John Ketchell, CEN-CENELEC Director- Innovation  
 ・ゲスト: Prof. Krzysztof Maruszewski, 欧州コミッション、ジョイントリサーチセンター(JRC)、標準材料・計量研究所所長  
 JRCは7つの研究所が5カ国に分散している。  
 コミッションは提案を加速し、簡素化し、標準化を近代化すると2011年2月4日の決定にJRCは貢献する。特に科学的側面から、規定前の研究、計量の整合化、規格への貢献、認証、標準計測・材料を支援する。  
 ・研究面  
 Mr. Maciej Czarnik, ナジロニア大学、開発センター、開発局長  
 (Prof. Karol Musiot, Rector of the Jagiellonian University - Collegium Novum)  
 アカデミーの研究結果が新しい発見の起源で、新しい製品を生みだす。アカデミー、産業界、消費者が標準化のプラットフォームを形成する。  
 ・産業・開発面  
 Mr. Paul Coebergh van de Braak, BUSINESSEUROPE会長, Internal Market Committee, Working group for Free Movement of Goods  
 研究者と産業界とが早い段階で意見交換する必要がある。研究者は標準を知らない。キーとなる研究開発に携わる人に標準化教育を標準化団体が助ける必要がある。  
 終了挨拶 CEN会長

SC61B電子レンジ安全国際議長 任期6年+延長3年3回 2013年  
 SC61C冷蔵庫安全国際議長 任期6年 2013年  
 工業標準化事業 第37回電気保安功労者 経済産業大臣表彰 2004.10.12  
 2011.8.1  
 初代IECトラスエジソン賞 2010.10.17

IEC国際規格改訂への経過

国内の国際化 96年 各社費用負担で国内省令1項適合品をIEC国際規格で試験実施 全社不適合 業界あげて反対意見一致

IEC承認へ 97年トヨタ/M/A(J/A)会 当日配付資料 各社の単品カタログを配付 委員会議決で2-100に対する反論を発言 原案否決

国際議長引き受け 97年9月別の会議 コヒーレック 国際幹事よりSC61B国際議長打診あり 即答でOK 日本へ国際電話で獲得

代替え承認得性 98年 各社費用負担で省令2項へ導入可能なIEC規格案の試験実施 2分オン1分オフ定常までと10分オン1分オフ3回と同等 IEC60335-2-25 平常温度上昇試験へ改訂提案

99京都会議 00トロコ会議 IEC60335-2-25 5版:2002 JISC60335-2-25 2003 省令2項改訂 JISを参照

1970's 1980's 1990's 2000's 2010's

欧州 CEE規格 欧州標準化委員会CENELEC 欧州規格EN = IEC

低電圧指令LVD 欧州各国認証 SEMKO, DEMKO, NEMKO, FIMKO, KEMA, CEBC, VDE, OVE, SEV, BEAB 各国向け設計対応

EU統合92 CEマーク

IEC国内委員会 全面受け入れ 反対しない方針

IECを変えるため国際会議参加

国際標準を創るメーカーしか生き残れない

設計の統合 IEC設計で世界展開 中国・韓国が積極的IEC活動

アジアから JISマークが消えた 欧州国際規格へ

アジア各国認証 CCC, eKマーク Safetyマーク TISIマーク C-tickマーク 香港・台湾認証

ASEAN統合 2015

国際標準力の電子レンジモデル

国際標準力 = 国際会議対応力 × 国際規格理解力 × 認証取得力

国際議長獲得

国際会議 国際規格 認証取得

1版76年 2版88年 3版93年 4版96年 5版03年

設計変更なし

大計変更 中 小 無し

欧州認証時代 VDE立合時代 日本の設計仕様を国際標準にした

SC61B電子レンジ安全国際議長 任期6年+延長3年3回 2013年

国際議長職に求められる資質：  
英語のディベート力、規格と認証を熟知、国際会議での存在感（会食時の短いスピーチ）  
**国際会議参加の日本代表者に、必ず自分の意見を発言させる。**

追加資料

TC/SC/TA/JTC	CHAIR欧州	CHAIR日本
205	122 60%	21 10%

IEC規格は欧州規格で占拠されている  
日本の技術をIEC規格の中に生かし  
IEC規格を真の国際規格にしよう！



IEC規格を変える提案をする  
主査・議長・幹事を獲得する  
変えたIEC規格を日本でも使う  
AN規格にしてアジア全体で使う



NARTE製品安全エンジニア資格



NARTE EMCエンジニア資格

## 今後について

**IEC活動の意義**

↓

**企業のグローバル化**

**国際標準化戦略**

**A.** IEC規格を日本に導入する

**B.** 日本の独自技術をIEC規格にする

**C.** 日本技術を阻むIEC規格を阻止する

**X.** IEC・TC/SC国際議長・幹事の獲得

**Y.** 欧州との共存共栄

**Z.** アジアの仲間づくり

**1.** 提案し国際議長・幹事・主査獲得

**2.** 欧州CENELECに張り付いた活動

**3.** 基準国際イノベーション技術研究会  
製品が出来る前に国際標準化

**私の事**

国際標準士会：経験豊富なベテラン認定の国際標準士／企業研修講師  
 国際標準エンジニア資格検定協会：国際標準検定試験  
 ワークショップのコーディネータ：プロジェクトごとの専門家人材プール